

学会参加報告

第58回日本小児保健協会学術集会に参加して

那覇市役所

保健師 渡久地 京 美

「子どもの育ちを見守り、地域で暮らす子どもと家族にできること～関係専門職種の連携をめざして～」をメインテーマに第58回日本小児保健学会が名古屋国際会議場で開催されました。

平成18年から保健師として働き、母子保健事業に携わってから初めて全国的な学会に参加させていただきました。

3日間の様々な講演会やシンポジウム、ランチオンセミナー等の中から、特に印象に残った内容を報告したいと思います。

初日、研修会「小児救急の社会的サポート電話相談研修会」を受けることができました。研修には各都道府県から実際に「#8000」で電話対応している方々が参加しておりました。参加者から現場のお話を聞くと、病院受診の相談では、具体的な病気の時の対応方法の指導が必要であり、夫婦間、家族間の悩みを相談されるので、相談の内容も幅広く、相談件数も多いので対応に追われていると話していました。その話より、私は核家族化による経験不足からくる不安や自信のなさが電話相談につながっているのではないかという印象を受けました。私自身も乳幼児健診等で保健指導をする際、お母さん方から「まだ絵本を読んであげたことがないです。絵本はどんな風に読んであげればいいですか？」など、絵本の読み方や子供とのコミュニケーションの取り方を多く質問されます。そのお母さん方の家族状況をみると、周りに相談できる人がいない、子育てをサ

ポートする者がいないなど、核家族や転勤等で子育てサポートが得られない家庭がほとんどです。細かく、具体的な保健指導の重要性を日頃実感しています。お母さん方に寄り添い、子育て応援ができるよう保健指導でも心がけたいと思います。

2日目に保育園・幼稚園に通園する発達障害をもつ子供と母親への対応と題してミニシンポジウムがありました。保育士の立場からの親子支援、当事者の立場からの意見など、色々聞くことができ参考になりました。健診の現場では精神発達の確認を問診で行っていますが、1度の健診で確認することの難しさを感じており、保育園に通園している子も多いので、保育士さんに集団での様子を聞くことも重要であると考えます。保育士さんとの連携を今後も密に行い、親子を支援していきたいです。そのことが、学会のメインテーマである「子どもの育ちを見守り、地域で暮らす子どもと家族にできること～関係専門職種の連携をめざして～」に繋がると考えます。

今回の学会で普段なかなか話す機会のもてない小児科医の先生や、保健師とご一緒させていただき、色々な話を聞くことができ、とても勉強になりました。研修の機会を与えて下さった沖縄県小児保健協会の皆様、ありがとうございました。この学会での学びを今後の保健師活動に活かしていきたいと思えます。

学会参加報告

第58回日本小児保健協会学術集会に参加して

久米島町役場

保健師 柴 岡 紀 子

「子供の育ちを見守り、地域で暮らす子どもと家族にできること！～関係専門職種の連携をめざして～」をメインテーマに第58回日本小児保健学会が、名古屋国際会議場で開催されました。様々なシンポジウム、講演会、ランチョンセミナー、震災フォーラム等盛りだくさんの研修でした。

特に印象に残ったことは、市民公開講座「たばこ子ども」のテーマです。

神奈川県では、受動喫煙防止条例が施行され、県庁にたばこ対策課が設置されている事、施設の80%以上が対応済みであり、小さな居酒屋でも受動喫煙防止に取り組んでいる事等に感銘を受けました。また、3歳児健診の子どもの尿中ニコチン濃度測定結果で、過半数が受動喫煙暴露を受けているという実態に驚かされました。静岡市保健所の取り組みでは、子どもは吸い始めて短期間でニコチン依存状態になりやすいために、ニコチンパッチの短期間の使用で卒煙できる治療を保健医療機関と家庭、学校が連携協力しながら取り組んでいる事はすごいことだと思います。

喫煙の問題は、我が町でも学校や地域と専門職が協力して取り組む必要性の高い課題だと思いました。

ランチョンセミナー「子どもの病気の早期発見～成長曲線の重要性～」埼玉県立小児医療センターの望月弘先生の講演では、成長曲線から病気の早期発見につながった症例の報告がありました。乳幼児健診から学童に至るまで、発達曲線の見方を保護者へ伝える事や、養護教諭、小児科医と連携していくことが必要な事だと感じました。発達曲線から見えてくるもので、小児の肥満がありますが、我が町の学校健診の結果から、高血圧・高血糖など、大人と同じ生活習慣病の問題がうきぼりになってきました。親子支援を学校や医療機関等の関係機関と連携しながら、地域ぐるみで生活習慣病の予防に取り組む事の重要性を実感しています。

今回の学会では、沖縄県から参加した小児科の先生方や先輩保健師、小児保健協会の皆様とご一緒させて頂き、色々と貴重なご意見や、情報が聞けたことは大きな収穫でした。この研修を今後の保健活動に活かしていきたいと思います。

研修の機会を与えて下さった小児保健協会の皆様に感謝申し上げます。